

洪水

想定最大規模降雨
相模川版

土砂災害

ハザードマップ

Chigasaki City Flood (Sagami River) and Sediment Disaster Hazard Map

ハザードマップについて

近年、想定を超える大雨による浸水被害が多発していることを踏まえ、相模川の管理者である国及び神奈川県より**想定される最大規模の降雨**(48時間総雨量567mm)により**相模川がはん濫した場合の洪水浸水想定区域**が指定されました。

このハザードマップは相模川がはん濫した場合の浸水想定区域と土砂災害(特別)警戒区域[※]を示したものです。このハザードマップと、関連するその他のハザードマップを活用し、災害に備えましょう。
[※]土砂災害(特別)警戒区域については、雨量に関係なく、傾斜地の形態により一律に指定されるものです。

関連するハザードマップ

茅ヶ崎市洪水ハザードマップ
 (小出川・千ノ川・駒寄川および内水版を掲載)
<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bosai/1001267/1001269.html>

茅ヶ崎市土砂災害ハザードマップ
 (土砂災害(特別)警戒区域の該当する地域の拡大掲載)
<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bosai/1001267/1015413.html>



お問い合わせ先 茅ヶ崎市市民安全部 防災対策課 Tel:0467-82-1111

発行:平成29年12月

1 近年の風水害による被害

台風や大雨により、日本全国において毎年、大規模な災害が起きています。平成29年の九州北部豪雨では記録的な大雨が続き、土砂災害や道路損壊なども相次ぎ、多くの地区が孤立しました。平成27年の関東・東北豪雨では鬼怒川がはん濫し、逃げ遅れた住民4,258名が長時間に渡り孤立し、救助救出には多くの時間を要しました。平成26年の広島土砂災害では深夜1時から4時にかけて、局地的に猛烈な雨が降り、南北約15キロにわたる10か所以上の土砂崩れが発生、多数の住宅に土砂が流れ込み、多くの方が犠牲になりました。これらの災害には共通して、想定を超える降雨が発生しており、甚大な被害や逃げ遅れによる人的被害が発生しています。



市内の過去の災害

茅ヶ崎市は相模川に隣接しており、土砂災害のおそれのある場所もあることから、想定を超える雨が降ることで、大規模な洪水、土砂災害が発生する可能性があります。平成26年10月の台風18号では1時間の降水量が54.5mmという激しい雨を観測し、市内の各所で道路冠水や床下浸水などの被害が発生しました。



この台風で相模川は、はん濫しませんでしたでしたが、急激な水位の上昇がみられました。 京浜河川事務所 提供

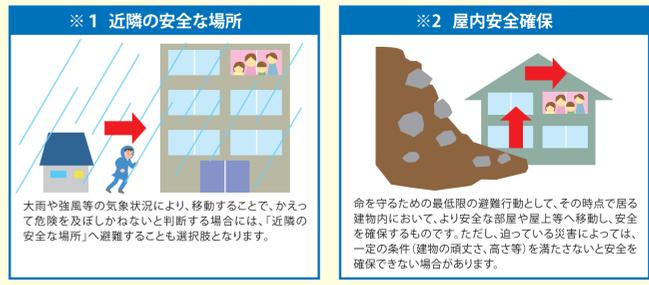
2 想定最大規模の降雨

河川の洪水対策は、これまで河川の洪水防御に関する基本となる降雨を前提としていましたが、近年の風水害を受け、「堤防などの施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との考えのもと、新たに、「想定される最大規模の降雨」が設定されました。相模川では想定される最大規模の降雨として、相模川流域の48時間総雨量567mmと算定され、相模川の浸水想定区域、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)が公表されました。



想定最大規模の降雨に対する避難について

- 洪水・土砂災害時の避難方法は原則、その**危険性のない場所へ避難する「立ち退き避難」**です。浸水が想定される区域、土砂災害のおそれのある区域にお住まいの方は災害の危険性がない、市指定の避難所に避難してください。
- 浸水が想定される区域に自宅があり、自宅に留まる場合、**浸水が長期間継続**すると上下水道、電気、ガス等のライフラインの機能が停止するおそれがあり、**取り残される危険性**があります。
- ただし、道路の冠水や雨が強く降っている状況で、移動することにより命の危険があると判断する場合は近隣の安全な場所(頑丈で高い建物や標高の高い場所)^{※1}や屋内で安全を確保^{※2}してください。
- 過去の災害では避難の途中で災害に巻き込まれ、犠牲になられた方もいます。
- 災害時には、自らの判断において避難行動を実施する必要があります。お住まいの地域や自宅にどのような災害リスクがあるかを把握しておくことが正しい避難行動につながります。



4 避難に関する情報

市は災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、避難情報を発令します。それぞれの内容を十分に理解し、災害時には正しい避難行動をとることが大切です。

| 避難準備・高齢者等避難開始 | 避難勧告 | 避難指示(緊急) |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●高齢の方、障害のある方とその支援者に対する避難開始の合図です。 ●避難を開始する方は避難を開始しましょう。 ●いつでも避難できるように準備しましょう。 ●身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象区域の全ての方に対して避難開始の合図です。 ●まだ、避難していない場合は直ちに避難しましょう。 ●地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ●既に災害が発生している場合があります。 ●まだ、避難していない場合は直ちに避難しましょう。 ●避難することが危険な場合は、自宅を守る行動をとりましょう。 |

災害情報の入手

市では防災行政無線をはじめ、複数の手段を用いて、市民の皆様へ情報発信を行っています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。複数の手段を活用し、情報を入手してください。

| | |
|---|---|
| 防災行政無線(屋外スピーカー) 避難勧告などの避難情報が発令された場合、市は、防災行政無線を通じて、これらの情報を伝達します。 | 防災ラジオ 防災行政無線が放送されると、同じ内容の音声がかかります。 |
| 防災行政無線電話応答サービス 防災行政無線の放送内容が自動音声で流れます。 0467(82)5555 | テレビ神奈川(tvk)データ放送 テレビ神奈川(tvk)「自治体データ放送」サービスを利用して、防災行政無線の放送内容をテレビ画面を通じて知ることができます。 |
| 茅ヶ崎市情報サイト パソコンや携帯電話から防災行政無線の放送内容を確認できます。 http://chigasaki-city.site.ktaiwork.jp/ | ちがさきメール配信サービス 防災行政無線の放送内容を、携帯電話やスマートフォン、パソコン等にメール配信します。(要登録) |



5 避難の判断に有効な情報

気象庁は、災害による被害を軽減するため、気象警報・注意報などの防災気象情報を発表しています。住民の避難行動の判断を支援するため、災害に結びつこうな激しい現象が予想される場合、その危険度の高まりに応じて注意報、警報、特別警報を発表しています。

| 気象庁による気象情報 | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 大雨注意報 洪水注意報 大雨、洪水によって災害が起こるおそれのある状況 | 大雨警報 洪水警報 大雨、洪水によって重大な災害が起こるおそれのある状況 | 土砂災害警戒情報 大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、都道府県と気象庁が共同で発表 | 特別警報 重大な災害の危険性が著しく高まっている状況 |



パソコン・スマホでチェック!!

●茅ヶ崎市防災情報サイト
 茅ヶ崎市の天気、警報・注意報の発表状況、河川の水位観測情報などを確認できます。
<http://dim2web09.wni.co.jp/chigasaki/pinpoint/chigasaki.html>

| 茅ヶ崎市の注意報・警報 | ピンポイント天気 |
|-----------------------------------|--|
| 大雨注意報 大雨警報 土砂災害警戒情報 特別警報 | 茅ヶ崎市のこれからの天気 11/16(日) 6-9 11/17(月) 9-12 11/18(火) 12-15 11/19(水) 15-18 11/20(木) 18-21 11/21(金) 21-0 11/22(土) 0-3 11/23(日) 3-6 |

●気象庁の危険度分布
 気象庁のホームページより大雨、洪水、土砂災害について、地域の危険度を確認できます。
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>



6 円滑な避難をするために

台風などの風水害はあらかじめ予測のできる災害です。災害から命を守るために必要な情報・行動を事前に確認しておきましょう

かなり大型の台風が来た。うちは川が近づくから心配だ。

台風発生

このままでは、台風が直撃だ。避難所への避難も考えなくては。

台風接近

無事、避難できてよかった。市内では、川のはん濫や土砂災害が発生しているみたいだ。

台風上陸

行動のポイント

- テレビ等で天気予報を確認
- インターネットで気象情報を収集
- 茅ヶ崎市防災情報サイト
- ハザードマップで避難所、避難経路を確認
- 防災グッズや家族の必要な物を準備(不足があれば買い出しへ)
- 家族全員の今後の予定を確認(遠出する予定がある場合はキャンセルも検討)
- 非常持ち出し袋の準備
- 自宅の浸水しそうな所に土のうを設置
- 家の周りの清掃
- 家の周りがある風で飛ばされそうなものは片付ける
- 1階が浸水するおそれがある場合は家財を2階に上げる
- 携帯電話の充電
- テレビ、インターネットで河川の水位情報や気象情報に注意
- 市からの避難情報に注意
- 浸水が想定されない場所の避難所に避難を開始
- 避難所についても、ラジオや携帯電話から情報収集

3 避難行動の確認

自宅の状況を確認

●自宅は「浸水が想定される区域」にある。 はい いいえ
 「はい」の場合は「浸水深」、「浸水継続時間」を確認しましょう。

●自宅は「河岸浸食のおそれがある区域」にある。 はい いいえ
 ●自宅は「土砂災害のおそれのある区域」にある。 はい いいえ

1つでも「はい」に該当する場合は、洪水、土砂災害の危険性がない地域の避難所とそこの避難経路を確認し、早めの**立ち退き避難**を心がけましょう。

●避難するときの情報

避難所: _____ 避難所までの移動時間: _____ 分

立ち退き避難の注意点

避難するときは、隣近所で声を掛け合い、なるべく複数人で避難するようにしてください。危険な箇所は避けて、遠回りでも安全な道を歩いてください。

- みんなで助け合って避難**
避難するときは、隣近所のご高齢の方や障害のある方声を掛け、協力し避難しましょう。
- 動きやすい格好、複数での避難**
長靴やサンダルは危険です。運動靴をはき、両手が自由になるよう持ち物はリュックサックに入れて避難しましょう。
- 非常持ち出し袋**
災害時に必要な物は一人ひとり異なります。自分に必要なものを事前に準備しておきましょう。
- 流れのある場所は近づかない**
ゆるやかな流れでも、ひざの高さになる危険があります。小さな河川や流れのある場所に近づかないようにしましょう。
- 浸水している場所には注意が必要**
浸水している場合は閉鎖などに陥るおそれがあり危険です。手をつないで長い棒などで確認しながら進みましょう。
- 斜面の近くは通らない**
斜面は一瞬で崩れ落ちることがあるので、近づかないようにしましょう。

早めの避難行動

水深が深くなると、移動することが困難になります。気象情報や河川の水位情報などをもとに、身の危険を感じたら直ちに避難しましょう。

| | | |
|--|---|---|
| 歩行が困難になる水深 成人男性 70cm 成人女性 50cm 子供・高齢者 20cm | ドアが開かなくなる水深 成人男性 40cm 成人女性 35cm 子供・高齢者 30cm | 車がとまってしまう水深 車種によってはタイヤの半分くらいでエンジンがとまることもあります。 60cm |
|--|---|---|

7 茅ヶ崎市で想定される浸水継続時間

このハザードマップは「相模川水系相模川の洪水予報区間」について水防法の規定により定められた想定最大規模降雨(48時間総雨量567mm)による浸水継続時間の結果です。しかしながら、雨の降り方によってはこの図に示されていない浸水が起きる可能性があるため、注意してください。

凡例

- 3日以上1週間未満
- 1日以上3日未満
- 12時間以上1日未満
- 12時間未満